

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（健康福祉コース）

項目	健康福祉	対象学年	2年	場所	学習室5・6
テーマ	バリアアリー体験				
講師	カレッジ教務リーダー（社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員） 窪田 和人				
<p>講義内容</p> <p>日常何気ない生活は特に身の回りを意識することはありませんが、病気やケガでそれまでの日常生活が何気なく送れないという状況もたらされる場合があります。</p> <p>バリアフリーとは何か、人それぞれにバリアと覚えることが少しずつ違ふものです。</p> <p>だから、あえて日常では体験することがないと思われる体験、バリアフリーではなく「バリア有り」を覚える、覚える機会を提供したいと覚えています。</p> <p>少し勝手が違ふということを利用して、五感を利用して体験して、覚えるてみてください。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>バリアフリーとは良く聞か言葉になりましたが、バリアがなくなる（解決する）というフリーとバリアから解放される（自由になる）フリーとは意味が異なります。</p> <p>バリアが有るフリをしてみてください。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（健康福祉コース）

項目	健康福祉	対象学年	2年	場所	カレッジホール
テーマ	運動初心者のためのストレッチ&筋力トレーニング入門				
講師	高知大学教育学部生涯学習課程スポーツ科学コース講師 常行 泰子				
<p>講義内容</p> <p>厚生労働省が発表した日本人の平均寿命は、男性 80.98 歳、女性 87.14 歳（2016 年度）と極めて高く示されました。健康でいきいきとした日常生活を送るためには、科学的根拠に基づく適切な運動方法の知識と実践が重要な鍵となります。</p> <p>本講義では、健康福祉コース 2 年生の皆様を対象に、初心者の方が取り組めるやさしいストレッチと筋力トレーニングを中心に学習し、膝痛や腰痛、肩こり、生活習慣病の予防・改善につながる健康運動について理解を深めます。運動を実践する上で必要となる基本的知識をわかりやすくお伝えし、ストレッチと筋力トレーニングの基礎的な動きの習得を目指す実践内容を含めて講義を展開します。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>フォームを確認しますので、動きやすい服装とシューズ、お水をご持参いただき、お越しいただければ幸いです。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（健康福祉コース）

項目	健康福祉	対象学年	1・2年	場所	カレッジホール
テーマ	ADL(日常生活動作)体力測定, 栄養調査, 生きがい感のフィードバック				
講師	同志社大学スポーツ健康科学部教授 竹田正樹				
講義内容	<p>本授業では“からだ”, “こころ”, そして栄養の3本柱で支えられている健康について, それぞれの測定結果をフィードバックします. 具体的には, 各測定項目の意義および内容説明を実施するとともに, 評価に関する考え方も併せて学習します. 加えて, 運動することで人は健康になれるのかどうか, 運動すれば長生きできるのかどうかについて, 疫学的研究や実験的研究データを元に解説し, 運動の持つ潜在的価値・可能性について学習します. さらに, 運動を安全にかつ効果的に行うためにはどのようなところに注意すれば良いのか, 最適な運動強度, 運動時間, 運動頻度, 運動量とはどれくらいなのか, について理解することで, 効果的で安全に運動を実施するための基礎的知識を身につけることを目的としています.</p>				
講師よりメッセージ	<p>「運動すると長生きできるのか」は究極的なテーマです. しかも人生の質も高まります. 私はそのために身体活動としてノルディックウォーキング, 認知機能低下予防としてダーツを推奨しています. これらについても紹介いたします.</p>				

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（健康福祉コース）

項目	健康福祉	対象学年	1・2年	場所	カレッジホール
テーマ	ADL(日常生活動作)体力測定, 栄養調査, 生きがい感チェック				
講師	同志社大学スポーツ健康科学部教授 竹田正樹, 株式会社ニューテクノロジー代表取締役 櫻木祥道				
<p>講義内容 人の健康は“からだ”, “こころ”, そして栄養の3本柱で支えられていると仮定します。それらを総合的に評価する必要があります。“からだ”の評価に関しては, 日常生活を営むために必要とされている日常生活動作に基づいた体力測定を実施します。合計10個の体力測定を行い, それぞれを10点満点, 合計100点満点で評価することで, 体力レベルの相対的評価を可能にしています。自信の体力を把握し, 同性同年齢の平均値に対してどの程度の開きがあるのか, 優れているものと劣っている項目は何か, を把握することで, 今後更に生じてゆく体力低下をどのように食い止めてゆくかを考える一助にすることを目的としています。“こころ”の評価に関しては生きがい感(個人的生きがい感と社会的いきがい感)に基づいてそれぞれ50点満点で評価します。栄養に関しては, 簡単な栄養調査に基づいて, 取り過ぎ, 少なすぎのようなものを極簡単にイメージしやすくするように配慮した調査を実施します。本授業では3つの要素から, 人の健康を総合的に評価し, 健康的な生活を送る上での行動指針を見つけ出すことを目的としています。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>皆さんとADL体力測定そのものを楽しみましょう。同志社大学スポーツ健康科学部の学生(私のゼミ生)が皆様のお手伝いをいたします。学生との交流も楽しんで下さい。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（健康福祉コース）

項目	健康福祉	対象学年	2年	場所	学習室5・6
テーマ	視覚障がい理解・点字を学ぶ				
講師	東 秀樹（神戸市立点字図書館 職員）				
<p>講義内容</p> <p>総務省の統計では、18歳以上の視覚障がい者は約31万人、18歳未満の障がい児は約4,900人。まったく見えない人もいますが、周囲が見えにくい、真ん中が見えにくいなど、いろいろな見え方の人があります。また、見えなくなった時期もさまざまです。</p> <p>視覚障がい者の状況や困っていること、生活環境や便利グッズ、支援の仕方、さまざまなサービスなどについて学習します。</p> <p>また、点訳グループ“グループ点灯虫”メンバーも加わって、点字の仕組みについて学び、点字器（点字版・点筆）を使って「名前」「住所」などを実習します。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>視覚障がいについて理解していただき、困っている様子の方がいたり、危険を感じた時には、ぜひ声をかけてください。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要 (シラバス) (健康福祉コース)

項 目	健康福祉	対象学年	2年	場所	布引ハーブ園
テーマ	【校外学習】神戸布引ハーブ園 ～ハーブの魅力と効能				
講 師	布引ハーブ園 園長 本位田 有恒 ほか				
<p>講義内容</p> <p>布引ハーブ園は「環境」「人と自然との共生」をキーワードに、ハーブを生活（暮らし）の中に取り入れる「香りの色と味わいの世界」をコンセプトとして、1991年に開園しました。12のテーマガーデンがあり、一年を通して約200種75,000株の花やハーブが、季節ごとにさまざまな花やハーブが咲き誇っています。</p> <p>“ハーブ”は総称で、暮らしに役立つ植物として、さまざまに利用されています。講義だけでなく、さまざまな体験を通して“ハーブ”の特長や魅力について学びます。</p> <p><b>【内 容】</b></p> <p>①本位田園長の講義 「布引ハーブ園の魅力」</p> <p>②実習「サシェ（香り袋）」作り</p> <p>③グループに分かれて「ハーブガイドツアー」</p> <p>④自由散策</p>					
<p>コーディネーターよりメッセージ</p> <p>神戸布引ハーブ園は、市民にとって貴重な財産であり歴史があります。私たちの身近にさまざまなハーブがありますので、ぜひ「お気に入り」を見つけ、暮らしに役立ててください。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要 (シラバス)

項目	健康福祉	対象学年	2 年	場所	学習室 5・6
テーマ	地域の力①および②				
講師	関西学院大学人間福祉学部教授 大和三重				
<p>講義内容</p> <p>【目的】「住み慣れた地域でその人らしく最期まで暮らす」"Aging in Place"の考え方を理解するとともに超高齢社会の現状を学び、今後どのような対策が必要かを具体的に考え、実行に移すことができることを目指す。</p> <p>【内容】</p> <p>① 午前</p> <p>なぜ、住み慣れた地域でその人らしく最期まで暮らす "Aging in Place"を実現することが重要なのかを考えるため、種々の調査結果を紹介する。その上で、多くの人が望んでいるにもかかわらず、現状では困難になっている原因を明らかにする。高齢者が地域で暮らし続けようとするとき問題となりうることを例示し、その対策として地域の力が欠かせないことを理解する。</p> <p>午後</p> <p>自らの生活をふり返り、1週間をどのように過ごしているかを書き出し、生活計画書(マイスタープラン)を作成する。日常生活、運動、健康管理、社会との関係、緊急時・災害への備えの5項目について今の生活をふり返って自己評価を行い、今後の計画を立てる。その際、地域で実際に活動することも想定して計画案を作成する。</p> <p>② フォローアップ</p> <p>① で作成した生活計画書(マイスタープラン)についておよそ8か月～9か月後のフォローアップを行い、実際に計画案を実行したかどうかふり返るとともに、自助・互助・共助・公助の重要性について再確認する。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>今後は高齢者だけでなく、誰にとっても地域での暮らしが重要な意味を持つと思われます。自助・互助による地域の力は非常に有効と思われますが、そのために自分たちにできることは何かを考え、地域力をいかに高めるか、受講生の皆さん一人ひとりに考えていただきたいテーマだと思います。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（健康福祉コース）

項目	健康福祉	対象学年	2年	場所	学習室5・6
テーマ	高齢者の体力づくりと運動機能の向上 II				
講師	一般社団法人兵庫県理学療法士会副会長・事務局長 山本克己				
<p>講義内容</p> <p>「高齢者の体力づくりと運動機能の向上 I」（1年次履修）で学習した内容を踏まえて、具体的な運動（体操）の実技を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転倒予防・関節疾患の予防、虚弱予防等に結びつける体操を1項目ずつ、頭部から体幹、手足、各部の運動学的・解剖学的理解を進めるための解説を加えながら、実技を習得していきます。</li> <li>・紹介する約30項目の体操の中で個人に合った体操を選択し、家庭生活の中で実践、あるいは周囲の方に勧めることができる内容となっています。</li> <li>・有酸素運動なども紹介し、生活リズムの活性化につなげ、高齢者の体力づくりと運動機能の向上を目指します。</li> </ul>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>1つずつの体操の効果を説明しながら行いますので、ご自身にあった体操が生活の中に取り入れることができます。</p>					



シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（健康福祉コース）

項 目	健康福祉	対象学年	2年	場所	学習室5・6
テーマ	実例・成年後見				
講 師	社会保険労務士・社会福祉士 山本勝之				
<p>講義内容</p> <p>高齢者や障害者の方が、認知症や知的障害などで判断能力が低下することにより、財産の管理や施設との契約が行いにくい場合があります。</p> <p>このような場合、本人に代わって財産管理などを行う、成年後見制度があります。</p> <p>実際に成年後見人として職務を行い、また相談業務も行っている講師から、具体的な相談事例や制度の活用事例などを通じて、成年後見制度を理解していただくことが目的です。</p> <p>また、これまでに学園で学ばれた福祉に関する学習に、活かすことができます。</p> <p>成年後見制度ができて20年近くになろうとしており、近年、成年後見制度の見直しの動きがあります。</p> <p>成年後見制度についての解説をはじめ、最新事情もお伝えをし、具体的な相談先、成年後見制度の利用の方法やその後の様子を、お伝えします。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>学生の皆さんが成年後見制度を知ることによって、ご自分の家族やお住いの地域で、制度の利用が必要と思われる方やそのご家族にアドバイスをいただくことによって、助かることがあると思います。知識を習得していただき、学外で機会があれば、今回の講義を活かして助言をしていただければと思います。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（健康福祉コース）

項目	健康福祉	対象学年	2年	場所	学習室5・6
テーマ	アルコールとのつきあい方				
講師	一般社団法人兵庫県精神科病院協会事務局長 森井 俊次				
<p>講義内容</p> <p>お酒は百薬の長と古くより言われておりますが、と同時に飲みすぎると肝臓病、すい臓病など命を脅かす病気を発症させることはよくご存じだと思います。また、近年では飲酒運転による重大事故発生や未成年や高齢者の飲酒問題などが身近でも話題に上がることがあると思います。</p> <p>そもそもお酒（アルコール）はどのように人間の身体に作用するのか、配偶者（パートナー）や子供など周りの人間を巻き込むアルコール依存症という病気とは何かを知り、上手にお酒と末永くお付き合いいただく方法を体得していただきたいと思います。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>お酒に強いか弱いかを判定するバジジテストもします。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（健康福祉コース）

項目	健康福祉	対象学年	2 年	場所	学習室 5, 6
テーマ	ケアの基本 ～技ではありません、心です～				
講師	リハビリテーション「モグネット」主宰 小椋修				
<p>講義内容</p> <p>介護は現代の日本が抱える大きな課題です。高齢者・障がいを持たれた方のお世話は大変、きつい・きたない、など介護に関するイメージは明るいものではありません。介護技術の解説は手間を減らしていかに効率よく行うか、といった視点で語られることが多いのですが、真の介護は日常生活の援助を通して、“その人らしさ”を取り戻す作業です。QOL「質の高い人生」をまっとうすることを助けるための身体と精神の介護をケアと呼びたいと考えます。</p> <p>講義では、ケアで改善を得た実例を紹介しながら、これまでにない個別具体的な介護方法を学ぶことを目指します。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>「この道はいつか行く道」 介護する“喜び”を見つけ伝えていくことが、きっと私達たちへも還ってくると思います。聴講、お待ちしております。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（健康福祉コース）

項目	健康福祉	対象学年	2年	場所	学習室5・6
テーマ	認知症サポーター養成講座				
講師	カレッジ教務リーダー（認知症サポーターキャラバンメイト）窪田 和人				
<p>講義内容</p> <p>高齢化社会における福祉においては「寝たきり」ではなく「認知症」が重要なキーワードとなります。</p> <p>認知症を発症しても住み慣れた自宅や地域で生活を送ることができる社会環境こそがこれからの福祉社会を形成するうえで重要なのです。</p> <p>本講座は「認知症サポーター」を養成するものですが、認知症発症者やその家族が地域社会で安心・安全な生活を継続するためには何が必要なのかということと一緒に考えます。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>認知症サポーターは何も特別なことをする訳ではありません。シルバーカレッジの建学の精神である「再び学んで他のために」をまさに実践する「認知症を学んで社会のために」ということでしょうか。</p> <p>あなたもオレンジリング（サポーターの証です。当講座修了後お渡しします）の仲間になりませんか。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（健康福祉コース）

項目	健康福祉	対象学年	2年	場所	学習室5・6
テーマ	テーマ学習「タウンウォッチング」（シリーズ学習）				
講師	神戸市住宅都市局景観政策課 職員 ほか				
<p>講義内容</p> <p>この授業では、概ね区ごとのグループでテーマを決め、「バリアフリーやユニバーサルデザインの観点・視点でわが街を見直し」、その結果をマップに作成します。</p> <p>また、マップを基に、気づいたことや問題点、提言などについて発表します。</p> <p>①講義「神戸市におけるユニバーサルデザイン都市の推進」 講師：神戸市住宅都市局景観政策課 職員</p> <p>②しあわせの村 UD チェック 講師：佃 孝司（公財）市民福祉振興協会経営企画課広報係長 講義後、しあわせの村内施設の UD の状況を実際に歩いて確認します。</p> <p>③計画の作成（下見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ名、取組むテーマや内容を決める</li> <li>・調査エリアや調査項目の選定。マップのイメージを話し合う。</li> <li>・必要に応じて現地に出かけ下見を行う。</li> </ul> <p>④本調査 テーマに沿った調査項目を確定し、現地で調査を行う。</p> <p>⑤マップ作り 調査結果をマップに落とし込む マップを完成させて、発表方法や役割を決める。</p> <p>⑥成果の発表 グループ毎に、マップを掲示して発表する。</p>					
<p>コーディネーターよりメッセージ</p> <p>この授業が、身近な「ユニバーサルデザイン」や「バリアフリー」に気付くきっかけになればうれしいです。</p> <p>出来上がったマップは、発表後ふれあいホールで掲示し、学生をはじめオープンカレッジなどで来校される市民の方々にご覧いただきます。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（健康福祉コース）

項目	健康福祉	対象学年	2年	場所	カレッジホール
テーマ	初めてのピラティス				
講師	高知大学教育学部生涯教育課程スポーツ科学コース講師 常行 泰子				
<p>講義内容</p> <p>これから運動を始めたいと考えておられる初心者の方や運動不足を実感されている方におすすめの健康運動とされるピラティスを体験します。ゆったりとした音楽と共に、インナーマッスルを含めた体幹の強化や、リラクゼーション効果の高いエクササイズ動作を丁寧にすすめます。</p> <p>本講義では、健康福祉コース2年生の皆様を対象に、ピラティスの効果や機能について基礎理論をお伝えし、入門レベルのやさしい動作を中心に、「伸ばす」「ほぐす」「強化する」エクササイズを実践します。普段運動から遠ざかっている方でもマイペースで楽しめる内容となっています。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>床の上で横になる動きがありますので、バスタオルかストレッチマット等をお持ちください。また、動きやすい服装とシューズ、お水をご持参いただければ幸いです。</p> <p>皆さまのご参加を心よりお待ちしております。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（健康福祉コース）

項目	健康福祉	対象学年	2年	場所	カレッジホール
テーマ	身体長持ちエクササイズⅡ				
講師	健康運動指導士 竹内 尚美				
<p>講義内容</p> <p>自分自身の健康状態を見つめ直し、実技と講義を織り交ぜながら、必要な動きの確認をし、運動を実践します。</p> <p>運動の種類や基礎を再確認し、1年次に行った姿勢のチェックを振り返りましょう。</p> <p>1年前の自分との違いや必要な動きの再確認を行い、それに伴う運動の実践をします。</p> <p>筋肉にアプローチするトレーニングや脳にアプローチするデュアルタスク（二重課題）トレーニングなどを楽しく紹介し、理解し、実践していきます。</p> <p>自分の身体を長持ちさせるよう、こころとからだのバランスアップを目指しましょう。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>自分自身に必要な動きを見出し、無理をせず、楽しみながら体を動かしましょう。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（健康福祉コース）

項 目	健康福祉	対象学年	2年	場所	カレッジホール
テーマ	レクリエーション実習				
講 師	甲南女子大学人間科学部教授 山本 存				
<p>講義内容</p> <p>レクリエーションのリーダーは、自主サークル、幼児保育や学校教育、高齢者福祉などさまざまな分野において、子どもから高齢者までの幅広い対象者に対して、スポーツや集団遊び、野外活動、ゲームや歌といったアクティビティを効果的に活用しながら、「こころの元気」づくりをすすめています。</p> <p>この授業では、レクリエーション領域独自のスポーツ種目やゲームなどの体験を通して、楽しさのなかからどのような身体的・精神的な変化が期待されるのか考えていきます。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>レクリエーションスポーツ、チャレンジ・ザ・ゲームなどいつでもどこでもだれとでもできる種目を楽しんでください。</p>					



シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（健康福祉コース）

項 目	健康福祉	対象学年	2年	場所	学習室5・6
テーマ	グループワークトレーニング				
講 師	甲南女子大学人間科学部教授 山本 存				
講義内容					
<p>グループワークトレーニング（GWT）は人間関係を学ぶ体験学習です。</p> <p>パティシペイターシップや機能的リーダーシップを養うことを目的として、グループでワイワイと楽しくリラックスした雰囲気で行う学習方法です。その体験を通して自分自身やグループに対して発見・再発見・再認識をしていこうというものです。具体的には、グループで協力して行う知的ゲーム的なものをおこない、そのプロセスをふりかえっていきます。</p>					
講師よりメッセージ					
<p>ありのままの自分で、グループメンバーと気持ちよくかかわる方法を考えましょう。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（健康福祉コース）

項目	健康福祉	対象学年	2年	場所	学習室5・6
テーマ	共生の社会を生きる ～認知症と向き合う～				
講師	認定NPO法人 認知症予防ネット神戸 理事長 伊藤 米美				
<p>講義内容</p> <p>第1講義</p> <p>『認知症の理解と予防について』</p> <p>①認知症の現状</p> <p>②認知症とは？</p> <p>③認知症はどうして起こるのか&amp;主な認知症</p> <p>④認知症の症状</p> <p>⑤予防の可能性とその進め方</p> <p>⑥記憶力を高めるポイント</p> <p>第2講義</p> <p>『認知症予防と支え合いのまちづくり』</p> <p>①認知症の人への向き合い方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の人のこころの声</li> <li>・地域の中での身近な支援の重要性</li> <li>・認知症の人への支援の進め方</li> </ul> <p>②認知症予防と支え合いのまちづくりの実際</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちぐるみで学ぶ</li> <li>・サポーターシールあふれるまちづくり</li> <li>・「認知症予防カフェ」等 居場所づくり</li> <li>・地域の情報あふれるマップ作り</li> <li>・地域で取り組む「もの忘れ検診」</li> </ul>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>認知症を予防するためには、認知症や予防について正しく理解する事と、みんなで楽しく取り組む事が重要です。私も団塊の世代、まさに予防の適齢期です。皆さんとご一緒に学ぶことを楽しみにしています。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要 (シラバス) (健康福祉コース)

項 目	健康福祉	対象学年	2年	場所	学習室5・6
テーマ	グループ学習のプレゼンテーション				
進 行	健康福祉コーディネーター 澤田智恵子				
内 容	<p>3年生の「グループ学習」は、関心のあるテーマについて「この指とまれ」でメンバーを募り、学習を進めていきます。</p> <p>2年次の3月に行うプレゼンテーションでは、3年生になったら始まるグループ学習への準備学習として、大まかな内容で「私は今、グループ学習でこんなテーマに取り組みたいと思っている」「こんなことを考えているので一緒にやりませんか」と提案していただきます。</p> <p>提案者になったり、同調者になったりしながら、3年次の4月に再度プレゼンテーションを行います。</p>				
	<p>コーディネーターよりメッセージ</p> <p>グループ学習は、プレゼンターの「この指とまれ」が「はじめの一步」です。ぜひ、学習してみたいテーマをプレゼンテーションしてください。</p>				

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（健康福祉コース）

項目	健康福祉	対象学年	2年	場所	学習室5・6
テーマ	3年になったら始まるグループ学習 ～先輩からの体験とアドバイス～				
講師	健康福祉コース22期生				
<p>講義内容</p> <p>2018年3月卒業の22期生から、グループ学習の進め方や意見・感想などについて話を聴き、3年生になったら始まるグループ学習の概要についてイメージするとともに、学習テーマのプレゼンターとして手を上げることを呼びかけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ選定とプレゼンテーション</li> <li>・グループの運営方法</li> <li>・大まかなスケジュール</li> <li>・配慮した方がよいこと</li> <li>・サポーターとの関わり方</li> <li>・発表後の取組</li> </ul>					
<p>先輩よりメッセージ</p> <p>グループ学習を「しんどいもの」と思う人も多いでしょうが、終わってみると、「楽しかった」「よかった」と感じることでしょう。友達ができたり卒業後の活動につながるなど、いいこともたくさん体験できると思います。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（健康福祉コース）

項目	健康福祉	対象学年	2年	場所	学習室5・6
テーマ	しあわせの村内福祉施設職員との懇談				
講師	特別養護老人ホーム神港園しあわせの家職員				
<p>講義内容</p> <p>認知症専門施設の特別養護老人ホーム「神港園しあわせの家」は、認知症専門の施設として平成元年7月に開設されました。この施設で、介護士や生活相談員として、福祉現場を担っている職員を囲んで懇談し、認知症高齢者へのケアの現状や問題点などについて懇談を進め、理解を深めます。</p> <p>《授業の進め方》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生は事前に質問内容について記入し、提出</li> <li>・グループに分かれて、学生から寄せられた質問を参考に話しあい</li> <li>・グループごとに、懇談の感想や意見などについて発表</li> </ul>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>しあわせの村内にありますので、いつでも見学にお越しく下さい。ボランティアさんの力も大助かりです。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（健康福祉コース）

項目	健康福祉	対象学年	2年	場所	学習室5・6
テーマ	地域活動は私たちの周りにもある！～地域づくりを通じた社協の視点から～				
講師	社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会 地域福祉課長 森貞拓郎				
<p>講義内容</p> <p>平成27年度に改正された介護保険制度は、神戸市では平成29年度から「介護予防・日常生活支援総合事業」としてリニューアル実施されました。</p> <p>この「総合事業」の内容や、高齢者が「総合事業」をどのように利用していくのかなどの知識を高め、これから必要となる高齢者への支援の方策を学びます。</p> <p>また、地域の中で展開されるさまざまな福祉活動はなぜ行われているのか？その意味は何なのか？今後、増加の一途をたどる高齢者の中で元気な高齢者には、期待される役割があるのでは？など、地域の住民とともに歩んできた「社会福祉協議会」の視点で、これらの「？」を紐解き、理解を広げていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域でかかわる人たち</li> <li>2. 社会福祉協議会って何？</li> <li>3. 民生委員・児童委員ってどんな人？</li> <li>4. ふれあいのまちづくり協議会</li> <li>5. 近年の福祉を取り巻く環境</li> <li>6. 地域での活動の実例</li> <li>7. みなさん、ひとりひとりにできること</li> </ol>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>目まぐるしく制度が変わって、分からないことばかりが増えてきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 介護保険が変わって「総合事業」と言うモノが始まったけど、一体何？</li> <li>◆ 要支援1や2の人は、もう介護保険を使えないの？</li> <li>◆ 隣の住宅で行われているあの「つどいの場」は何なんだろう？</li> <li>◆ また近所にマンションが建つみたいだ。子育て世帯が増えるなあ。</li> <li>◆ ひと昔前は「見守り」。今は「支え合い」。何が違う？</li> <li>◆ STOP！「健康格差」</li> </ul> <p>こんな切り口で、考えてみれば、地域活動の意味が見えてきます！</p>					